

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 砂原母の会
施設名	そあ季の花保育園
報告者（役職）	稲垣 春子（園長）
住所・連絡先	東京都練馬区大泉学園町 2-22-14
	☎ 03-3978-8008
	E-mail sower@kinohana.info

○タイトル（保育計画）

絵本大好き

○主な助成備品

リーフ型テーブル、ベンチ

1. 実施した保育計画策定の目的

日々の忙しい生活の中で、親子で絵本を楽しむゆとりを持っていないのが現状である。迎え時のひと時に絵本を通し親子の交流を図り、保護者と子どものかかわりが持てる場所づくりを考えた。また、親子だけでなく、日々の保育の中で集団で過ごす時間は多くあるが、個々の子どもとの保育者の関わりを大切にできる時間が少ない。個々の関わりの場所として、スペースのある玄関ホールや乳児の受け渡し室に絵本のコーナーを設置する。

2. 具体的な実施内容

①2階 乳児受け渡し室
ベンチと椅子



②玄関 絵本スペース
ベンチとテーブルの設置



新設の保育園であるため保育者と子どものかかわり、保護者と子どものかかわりをゆっくりともてる場所、日々の保育の中で個々の子どもとの関わりを大切にできる場所として活用した。

3. その成果と評価

乳児の受け渡し室では朝の支度を保護者がしている間に子ども達が絵本を読んで過ごしている。

保護者も子どもの対応に追われながら準備をしないでいられるため、ゆとりをもって子どもと接する姿が見られる。



幼児クラスの子どもたちも少人数でゆったりと過ごす時間を持つことで、自分の好きなことにじっくりと取り組むようになってきた。

毎日忙しく過ごす保護者だが、迎えの時間に子どもと向き合い絵本を読んでいる。親子の関わりを持つきっかけになっているようだ。親子で絵本に興味を持つきっかけとなっている。



4. 今後の課題と展望

玄関に入ってすぐにある本棚とテーブル、イスが保育園のシンボルとなって定着しつつある。保育園に在園する親子はテーブルとイスがあることで、そこに置いてある絵本と関わるきっかけとなった。はじめて保育園に来た親子も木の温かみに触れ、ゆったりと座り過ごしている。保育時間が長時間になっている今、保育園で過ごす子どもたちが落ち着いて生活できるように、できるだけ落ち着いた空間を整えていきたいと考えている。

今後はこの絵本の貸し出しなども行い、絵本コーナーを保育園の特色として地域にも広げていきたい。

以上